がん放射線治療を受けられる方へ

放射線治療について説明したパンフレットです。
治療や治療中の生活上の注意事項が書かれています。
患者さんに少しでも不安なく受診していただくために支援させて頂きますので、放射線治療を受ける方は、パンフレットをお読みください。

上都賀総合病院　放射線治療室

１.放射線治療は、がん治療の主要な方法の一つで、外科手術や化学療法と並び多くの患者さんに適応されます。

- 放射線は自然界にも存在するものですが、医療においては人工的に作り出して診断や治療に利用します。
- 当院では体の外から放射線をあてる「外部照射」をおこなっています。
- 放射線治療は手術と同様、局所療法です。がんの部分に放射線をあてて治療します。放射線をあてても、痛みや熱を感じることはありません。
- 放射線治療は、がんを完全に治す「完治」から、症状を和らげる「緩和」まで幅広い目的で利用されています。単独で行われることもありますが、手術や化学療法と併用されることもあります。

２.治療スケジュール（患者さんによって変更になることもあります）



多くの場合、外来通院での治療が可能です。

病態や医師の指示により入院治療になる場合もあります。

治療は、原則１日１回　月曜日～金曜日までの週５回です。

土曜日・日曜日・祝日はお休みです。

治療期間は、通常、**数日～数週間**で、照射目的や治療部位により異なります。

１回の治療にかかる時間は、10分～15分程度です。

治療受付時間は、午前【9：00～12：00】午後【２：３0～４：00】です。

患者さんの都合や放射線治療室の混み具合に合わせて対応します。

気軽にご相談ください。

３.放射線治療の流れ

①放射線治療医による治療方針の決定

主治医から放射線治療の提案がされたら、放射線科外来を受診します。

放射線治療医の診察、説明を受け、治療方針を決定します。

②CT撮影・オリエンテーション

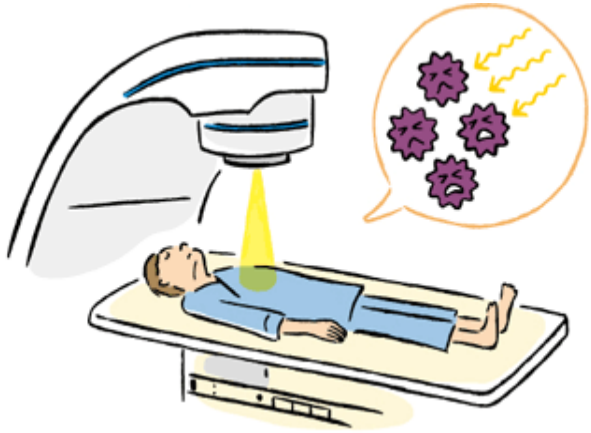
病巣の位置や大きさを把握するためにＣＴ撮影をします。「①」の外来受診日の当日または別日を設定します。治療開始日や治療中の留意点について看護師から説明をします。



③治療計画（この日は患者さんの受診はありません）

病巣に正確に照射するため、撮影したＣＴ画像を使って、放射線治療医が、放射線をあてる角度や線量、治療回数など、治療計画を立てます。

④放射線照射開始



・治療計画に従って放射線治療を開始します。

・治療期間は、数日～数週間程度です。

・まず、治療台に仰向けに寝ていただき、装置を回し、照射位置を正確に合わせます。所要時間は、10分～15分程度です。

・治療が終了するまで体を動かさないでください。

・治療中は、治療室に患者さん一人になりますが、スタッフがモニターで見守っていますのでご安心ください。

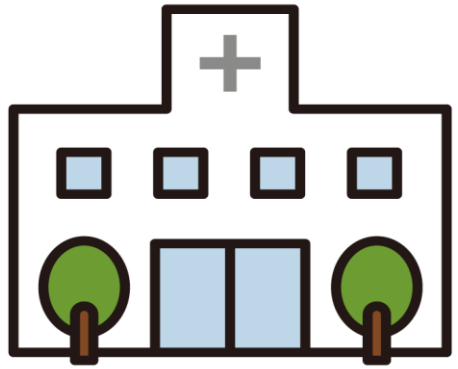
４.放射線科外来の受診方法

放射線科外来で放射線治療医の診察を受けます。

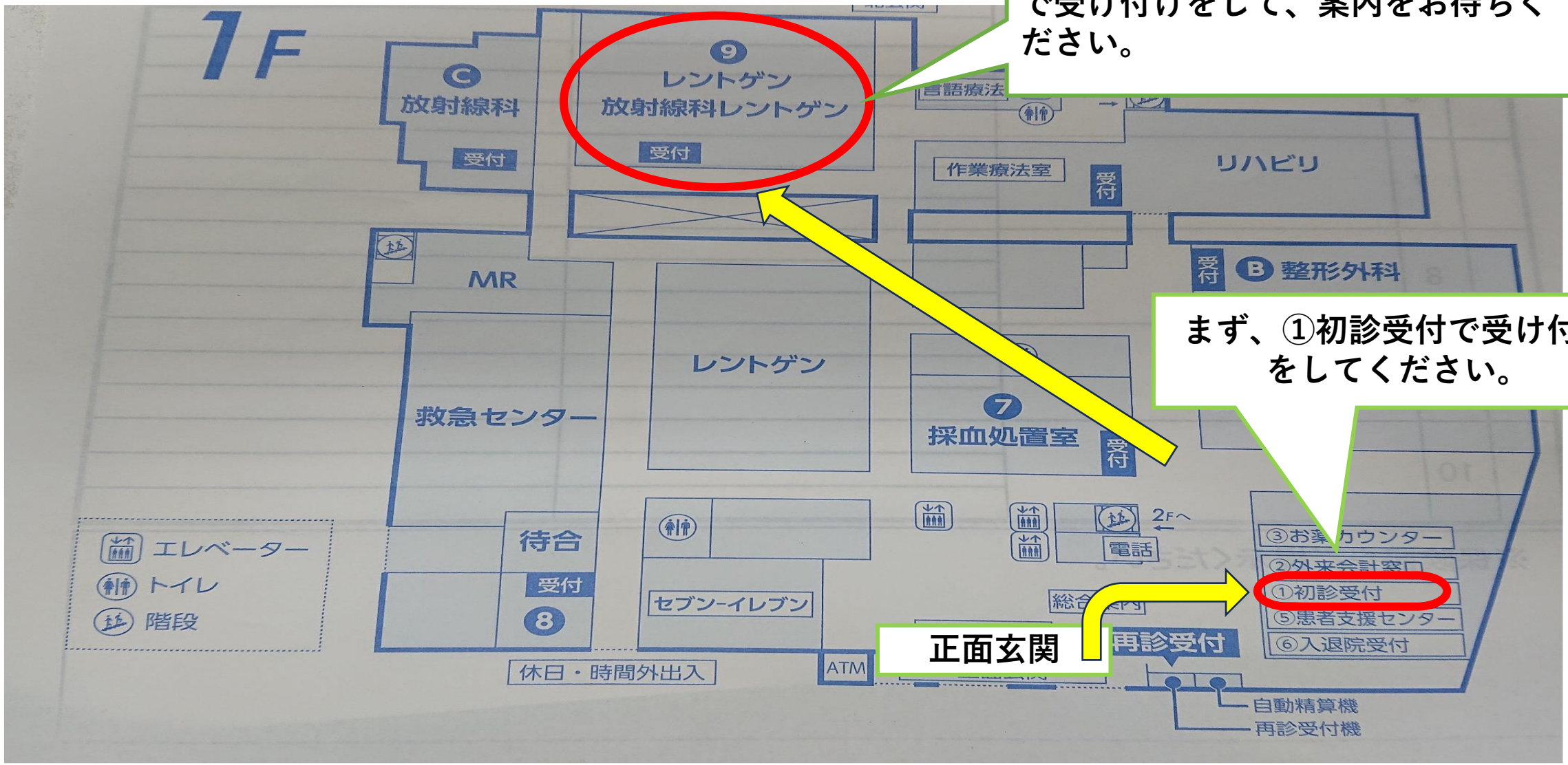
・初めての放射線科外来受診日は**９時１５分**までに受付を
してください。

・【①初診受付】で受付を済ませて、**【❾放射線科（レントゲン受付）受付】**へお越しください。放射線科外来に案内します。

・診察までの間に、担当看護師が問診に伺います。
また、「放射線治療に関するパンフレット」をお渡しますので、
読んでおいてください。



初回受診時の受付の順路



つぎに、❾放射線科レントゲン受付で受け付けをして、案内をお待ちください。

まず、①初診受付で受け付けをしてください。

5.放射線治療の副作用

放射線治療の副作用は、**急性期【放射線治療開始後から起こるもの】**と**晩期【終了してから起こるもの】**があります。

放射線治療は局所療法なので、副作用は、放射線を照射した部位に限られることが殆どです。

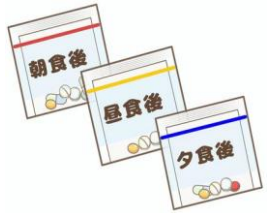
多く見られるのが、照射部位の皮膚への影響で、赤みなど日焼けのような変化です。ほとんどの場合、治療終了後に治療開始前の状態に徐々に回復します。

その他、部位ごとの副作用については、**診察の時に、医師・看護師から患者さん一人ひとりに合わせた詳しい説明があります。**

6.放射線治療中の日常生活の注意点

①決められた照射回数を終えて、一定の治療効果が出ます。
休まず決められた期間に決められた回数の治療を受けるようにしましょう。治療を開始したら、体調不良やその他のことで、来院が難しい場合も、ご自身の判断だけで休まず、放射線治療室にご相談ください。

上都賀総合病院（代表）0289-64-2161　放射線治療室





②内服薬、食事、活動（仕事や運動）、休養について
今、内服しているが薬あれば、申し出てください。
栄養バランスのとれた食事をとりましょう。
活動に制限はありませんが体調を考慮しながら活動しましょう。
疲れたら、十分休みましょう。

③放射線が当たっている皮膚のケアについて

・入浴はいつもどおりできます。

・放射線が当たっている皮膚は、影響を最小限にするために、
できるだけ刺激のない方法で洗うようにします。
タオル等は使用せず、あわだてた石鹸を手のひらで皮膚にのせます。
その後、ぬるめのお湯で流します。
水分はタオルで抑えるように拭きます。

・放射線が当たっている皮膚への、絆創膏、湿布、貼り薬
軟膏、クリームなどはご相談ください。



・照射部位にはインクで皮膚に「線」が書かれます。
「線」が薄くなったり、一部消えたりしても、放射線技師が書き足すので心配いりません。

オリエンテーションのときに看護師から詳しい説明をします。
心配なことや分からないことがありましたらご相談下さい。